

令和8年度 sakura 保育園

とうきょう すくわくプログラム 活動報告書①

園名	sakura 保育園
活動①	2026年6月～7月 戸外活動で自然に興味を持つ姿
活動クラス	全クラス 0・1・2 歳児クラス
年間のテーマ	自然

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉 自然

〈テーマの設定理由〉

・戸外活動を好み、植物や生き物などの自然に興味を持つ姿が見られる為、じっくり触れる機会を設けたいと思ったから。また、虫を怖がる児の姿もあることから、観察したり触れ合ったりする時間を通して恐怖心を和らげ、興味を引き出していきたい。

2. ねらい

- ・子どもたちの「伸びる・育つ」と「好奇心・探究心」を応援する。
- ・子どもたちが自ら発見や疑問を表現し、伝えようとする。
- ・子どもたちが自分自身のアイデンティティを形成し他者との共生を学ぶ。
- ・実生活で役立つスキルを身に付けていく。

3. 活動スケジュール 〈①6月～7月 ②8～9月 ③10月～12月 ④1～3月〉

①1 期:6月～7月

- ・戸外活動で自然探索を行い、植物や生き物などを採取する。
- (1) 園に持ち帰ってブルーシートの上に広げ、じっくり観察する。図鑑や絵本などを提供し、見比べたり触れ合ったりすることができるようにする。
- (2) 壁に模造紙を貼り、採取した自然物を貼る。室内で過ごす際も拾ってきた自然物を観察できるようにする。

- ・観察する中で発見を促せるような声掛けを行いながら、個々の興味や疑問に気付けるようにしていく。

- ・戸外活動では、植物や生き物に興味を持てるような声掛けを行い、自然探索に意欲的になれるよう促していく。

☆活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(1)・虫網や虫カゴ、植物を入れられる袋を持って、戸外活動へ出かける。

- ・写真や動画で子ども達の様子を記録する。

- ・活動後に職員間で子どもの様子を共有する。

(2)・模造紙を壁に貼る。模造紙の下の部分に四色のシールを貼り、色分けしながら自然物を貼れるようにする。

- ・持ち帰ってきた自然物はラミネートして模造紙に貼る。

- ・それぞれ気付いた子どもの様子を付箋に書き、紙に貼っていく。自由に付箋を貼り出せるようにし、情報を共有できるようにする。

4.探求活動の実践〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

(1) ・ダンゴムシを絵本に登場する名前と呼び、探したり触れたりしていた。また、絵本でダンゴムシが落ち葉を食べる場面があったため、虫カゴに落ち葉も一緒に入れていた。はじめは虫を怖がっていた児も観察していく中で自ら触れようとする姿が増えていった。

- ・花やたんぽぽの綿毛にも興味を持っている。綿毛を持つと、息を吹きかけていた。

- ・室内では、どんぐりをじっくり観察し皮をむこうとする姿があった。また、絵本や図鑑と見比べることも楽しんでいた。

(2) ・自然物を身近な食べ物に見立てる姿がある。また、ラミネートした自然物をネックレスに見立て身に付けようとしたり、鍋や皿に入れて遊んだり、ままごと遊びを楽しんでいた。

- ・室内で自然物に触れたり、模造紙に貼られた自然物を見たりすることに喜びを感じている。

- ・四色のシールの色と自然物を照らし合わせ、貼る場所を考えていた。また、好きな色の自然物が集められたところを見て、「きれい」と話している。

- ・模造紙に貼られた自然物を繰り返し見て、拾った際の思い出や場所について保育者と会話することを楽しんでいる。

- ・戸外で自然探索をすると、匂いを嗅いだり気付いたことを自ら保育者に伝えたりしている。



5.振り返り 〈8～9月の活動について考える〉

- ・絵本や図鑑などの教材に関連付け、気付いたことを保育者と話す姿が多かった。
- ・室内で改めて観察したり触れたりすることで、じっくり自然物に触れ合うことができていた。また、ごっこ遊びに発展させようとする姿もあった。
- ・室内で自然物を使った感触遊びや製作などを行っていき、更に自然への探究心を育んだり様々なことへの発見を楽しんだりできるようにしていく。